中野警察署員が不当な取り調べ

漏水現場の応急措置の後

工具の所持で検挙、連行

中野 健太郎さん（品川・配管設備）

今年2月、品川支部の中野健太郎さん（配管設備）が中野警察署で不当な取り調べを受けるという事件が発生しました。5月18日の教宣活動者会議で話を聞きました。中野さんは今回の事件について民事訴訟を起こしています。建設業者全体の問題だと考えてのことです。中野さんの話を紹介します。（見出し・文責とも編集部）

警察の不当性を訴える中野さん

2月4日の深夜、マンションで漏水が発生したとの緊急要請で対応しました。午後10時半ごろ、漏水の原因箇所を特定して応急措置をしたのですが、頭から濡れたので作業車に戻って一服していたところへパトカーが来て、職務質問されました。免許証と車検証を見せ、「今日は何かの帰りですか」と聞かれたので「緊急の現場です」と答えました。車の中も見たいというので見せたところ、工具箱からガラスクラッシャー、電工ナイフ、マイナスの貫通ドライバーが出たということで、警察官は緊急要請をし、あっという間にパトカーに取り囲まれ、検挙すると言ってきました。

工具箱から工具が出たからと、銃刀法だの軽犯罪法違反だのと並べたてました。誰がどう考えてもおかしいでしょうと私が話したところ、警察官は今度は、反抗するなら公務執行妨害で逮捕すると言ってきました。そんなに抵抗はしませんでしたが、とにかく連行すると言われ、抗議しましたが、連行されてしまいました。

令状なしで身体検査

「建設業者はクソだ」

中野警察署の取り調べ室に連れて行かれたところ、若い署員たちと当番部長という年配の巡査部長がいて、明らかに犯罪ですと言ってきました。何が犯罪なのかはっきり説明してくれ、建設業者なので工具箱に工具が入っているのは当たり前だと押し問答になりました。当番部長は建設業者はろくなものじゃない、建設業者はクソだと言いました。言っていいことと悪いことがあると抗議しました。

そして裁判所の令状もなしに身体検査を始めました。当番部長が若い署員に股間や肛門まで調べさせましたが何も出ないので、前科・前歴があるだろうと始まりました。免許証で調べて、ないのは分かっているだろうと抗議し、工具が違法なのか分からなければ本部に確認しなさいと話しましたが、そんな必要はない、プラスドライバーはセーフ、マイナスドライバーはアウトなんだと言いました。法律でそんなことが書かれているのかと抗議したところ、当番部長がここでは俺が法律だと言いました。

職質強化月間の垂れ幕が

その後、全指紋と手のひらの掌紋と、前、斜め、後ろの顔写真を撮られました。撮影した警察官はこれであんたも犯罪者の仲間入りだと言いました。全国犯罪者データベースに載るということです。現場から帰ろうとしていた工事業者がいつの間にか犯罪者にされてしまいました。

地域課の壁に大々的に「職務質問強化月間、めざせ地域課長賞」という垂れ幕が貼ってありました。若い警察官に地域課長賞とは検挙率か検挙数なのかと聞くと、検挙数ですと答えました。数がほしいということで、これはでっち上げだと分かりました。

供述調書が勝手に書かれてきました。「私は危険な凶器と知りながら車に隠し持っておりました」というもので、拇印を押せと言われましたが拒否しました。何日も勾留すると言われたので、結構ですと答えると、最後には「不当な取り調べで大変迷惑しています」といった内容に変えたので拇印を押しました。

解放されたのは朝の6時くらいでした。すぐに弁護士と品川支部に相談しました。品川支部では由々しき事態だと立ち上がってくれました。東京土建は建設業者に何かあった時に全面的にサポートしてくれる組織だということが改めて分かりました。

誰もが犯罪者に

驚きの職質強化月間

【豊島・主婦・相良眞理通信員】この事件を当事者の中野さんからお聞きして、とても怖い話と感じました。これでは誰もが、どこでも、いつでも犯罪者にされるという恐怖です。

相良さん

「建設業の人間はロクなものじゃない」発言も職業差別です。また10時ごろから翌日6時までの長時間の身柄拘束、身体検査、写真撮影も個人の尊厳を犯す違法な行為で許せません。

なかでも、警察署が、「職務質問強化月間」をしているのには驚きました。商社の販売促進月間ではあるまいし、警察がそのような月間をしているとは、どういうことなのでしょうか。これでは建設業者・職人は安心して現場に行くことができません。

弾圧を許す社会にしない

【清瀬久留米・畳工・阿部史夫通信員】警察は、でっちあげ、を行なう組織です。私の息子は、ミリタリー好きで、職質され、小平警察署で同じような扱いをされました。もちろん、最後は泣き寝いり。

阿部さん

しかし、中野さんは、一文の得にもならないのを覚悟で提訴しました。自分だけの問題ではないという強い思いがあるからです。

戦前の治安維持法の様に、あからさまに、弾圧される社会にしてはならない。中野さんの勇気ある決断に、応えていきましょう。私達、一人一人の問題として。

支援行動の成功を

広く知らせてほしい

野村さん

【野村和好委員長の話】皆さんの格別の互助力・ご協力をいただきたいと思っています。私の父も塗装業を営み、東京オリンピックのころで忙しかったのですが、子どもたちから揶揄されることなどがありました。その子どもたちが、中野さんの話のような警察官になったのではないかと思ったくらい、びっくりしました。

品川支部は全面的に支援します

擁護のコメント3万件

議員も超党派協力を約束

【新関仁主任書記の話】支部では抗議文を4月8日の執行委員会後に中野署へ郵送し、4月13日の支部定期大会では中野さんに初めて訴えていただきました。その場に国会議員、都議会議員、区議会議員の来賓が出席しており、東京都が中野署の上にあるので都議会議員の反応が大きかったです。超党派で取り組む、全面的に協力するといった話もいただけました。

新関さん

その後記者会見があり、弁護士ドットコムがヤフーニュースに記事をあげたところ、中野さんを擁護するコメントが3万件にまでなりました。中野さんの事件は一個人の問題ということではなく、建設業者全体の問題です。ヤフーニュースの様な媒体を通じてニュースになっていますし、3万人が同じような感想を持っているということを後ろ盾にすれば、おそらく都議会でも追及できる問題です。

弁護士が、弁護士のルート、議員のルート、組合のルートと、いろいろな方向からやっていったらと言っていましたが、そうした取り組みになりつつあります。

6月13日が第1回の公判です。傍聴席を埋め、これだけの人が注目しているということを裁判官に示していくために支部として分会に動員もかけていきます。裁判支援のカンパも検討しています。

人権侵害と職人蔑視

連帯してたたかう

黒澤さん

【目黒・塗装・黒澤利時通信員】中野警察のやり方は不当です。一般市民に対する人権侵害であるだけでなく、建設業者蔑視でもあります。

不当弾圧を受けた品川支部の中野健太郎さんはシッカリした方だから、一方的な供述調書を拒否しましたが、早く帰宅したい一心で印を押す人もいる筈です。不当なのは連行だけでなく取り調べも全く不当。裁判所の逮捕令状もない。更に深夜に長時間にわたる取り調べは違反です。東京土建11万人のチカラは偉大です。中野さん自身の言で「お金の問題ではない。働く者の当然の権利を弾圧する警察権力に対したたかう」に共鳴します。連帯してたたかいます。

私達も支持しています